

國學院大學・文学部講演会 ― 外国語文化学科〈多言語・多文化の交流と共生〉プロジェクト

ことばと出会う

ぱくきよんみ

2016.12.17 [SAT]

15:30-17:00 (15:00開場)

國學院大學渋谷キャンパス

5号館2階5202教室

講演・朗読：ぱくきよんみ（詩人）
司会：笠間直穂子（國學院大學准教授）

* 入場無料、申込不要

お問い合わせ先

國學院大學文学部笠間研究室

TEL 03-5466-6270 | FAX 03-5466-4814

kasama@kokugakuin.ac.jp

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

ことばと出会う ばくきよんみ

第一詩集『すうぶ』以来、20世紀英語圏のモダニズム文学に親しみ、朝鮮半島の民族文化に向き合いながら、つよくやさしいことばをつむいできた詩人・ばくきよんみ。詩のことばとの出会い、ことば以前の創造の世界との出会いについて、韓国伝統音楽・舞踊の貴重な映像もまじえ、お話しいただきます。

日時 | 2016年12月17日[土] 15:30-17:00 (15:00開場)

場所 | 國學院大學渋谷キャンパス 5号館2階5202教室

講演・朗読 | ばくきよんみ (詩人)

司会 | 笠間直穂子 (國學院大學准教授)

* 入場無料、申込不要

お問い合わせ先 |

國學院大學文学部 笠間研究室

tel.03-5466-6270 | fax.03-5466-4814 | kasama@kokugakuin.ac.jp



ばくきよんみ | 詩人

1956年、東京に在日韓国人2世として生まれる。第一詩集『すうぶ』(紫陽社)を1980年に出版して以来、詩やエッセイをさまざまな媒体に掲載。87年にはガートルード・スタインの『地球はまあるい』(書肆山田)をはじめ日本語に翻訳、93年には同じくスタインの『地理と戯曲抄』(共訳、同上)を翻訳出版した。そのようなモダニズム文学への取り組みと並行して、80年代より韓国の伝統音楽・舞踊を学び、伽倻琴(カヤム)、ポジャギなど民族芸術を広く研究。和光大学、中央大学クレセントアカデミーで講師。近年は「ジェノヴァ国際詩祭」(イタリア)、「スツルルーガ 詩の夕べ」(マケドニア)、「リーガ 詩の日々」(ラトヴィア)、「詩の門」(ルーマニア)など国際的な詩祭に招聘されている。

主著に詩集『すうぶ』(復刊 ART+ EAT BOOKS)『そのコ』『ねこがねこ子をおわえてやってくる』『何処何様如何草紙』(以上、書肆山田)、エッセイ集『いつも鳥が飛んでいる』(五柳書院)、絵本『れろれろくん』(小学館)。共著にアンソロジー『ろうそくの炎がささやく言葉』(勁草書房)『わたちの在日』(新幹社)。

会場アクセス |

國學院大學渋谷キャンパス5号館2階5202教室
〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

渋谷駅から徒歩約13分。または都営バス(渋谷駅東口バスターミナル54番のりば03日赤医療センター行)「国学院大学前」下車

表参道駅B1出口から徒歩約15分

恵比寿駅から徒歩約15分。または都営バス(恵比寿駅西口ロータリー1番のりば学06日赤医療センター行)「東四丁目」下車

